

第5回会議資料

地域大学の これからについて

Miraiプロジェクトの経験から

山梨大学 生命環境学部 3年
雨宮綾南

【 目次 】

- 01 Miraiプロジェクト概要
- 02 ヒアリングから
ー参加団体・地域住民
- 03 ヒアリングから
ー大学生・高校生
- 04 取り組むべき課題

- 05 授業の周知・拡大
- 06 学生広報スタッフの活用
- 07 交流機会の創出
- 08 まとめ

【 Miraiプロジェクト概要 】

地元企業・団体×大学生

企業や団体のニーズや課題に基づいて、
学生と協働で行うプロジェクト

- ・ 社会との新たな繋がりを築くことができる
- ・ 社会で役に立つ実践力を身に着けることができる

プロジェクト例

-
- ・ 産業観光ツアーの造成
 - ・ こぶちさわすずらん祭りの運営
- etc...**

山梨県内の様々な大学から参加可能

プロジェクト内容も幅広い

年々プロジェクト数・参加学生が増加

【 ヒアリングから 参加団体・地域住民 】

▶ 学生の存在価値

- ・ 学生だからこそ斬新なアイデア
- ・ 高齢化社会の地域に学生による活気が生まれる
- ・ 興味関心を持った学生による積極的な参加

▶ 地方・地域への関心

- ・ 地域活動に関心のある学生の存在
- ・ プロジェクトをきっかけに地域を知る
- ・ 地域の抱える問題や住民との交流

▶ 学生の意見や活動

- ・ フレッシュな感覚・感性、若い発想が足りていない
- ・ 若者を呼ぶためには、同じ目線の若者の意見
- ・ 交渉事や次年度以降の継続の難しさ

▶ 地域住民と学生の交流機会

- ・ 地域住民と学生の交流の場が欲しい
- ・ プロジェクトから地域へ興味を持ってほしい
- ・ 1年という活動期間の短さ

【ヒアリングから 大学生・高校生】

▶ 大学生/良かった点

- ・単位があることで最後までやり遂げられた
- ・地方創生など興味はあり良いきっかけになった
- ・他大学の学生と関わることができた

▶ 大学生/要望

- ・高校生ともっと交流する時間が欲しかった
- ・プロジェクトごとの差があった
- ・報告会など硬い場ではない相談会もあるといい

▶ 高校生/良かった点

- ・地域の活性化を感じるいい経験ができた
- ・大学生という歳の近い方だったから楽しくできた
- ・なりたい人物像や進路のビジョンがはっきりした

▶ 高校生/要望

- ・大学生と気軽に关われる機会
- ・Miraiプロジェクトのような活動を高校生でも行ってみたい

【 取り組むべき課題 】

01

授業の周知・拡大

-
- ・ 授業内容の多様化
 - ・ 情報の周知
 - ・ 参加しやすい環境づくり

02

学生広報スタッフ の活用

-
- ・ 高校生の興味・関心
 - ・ 大学生との交流機会
 - ・ 高校生の活動参加意欲

03

交流機会の創出

-
- ・ 高校生×大学生
 - ・ 地域住民×大学生
 - ・ 企業・団体×大学生

授業の周知・拡大

**様々な授業形態
関心のある学生に届けたい**

現在すでにある他大学との連携科目・プロジェクト活動

- ・ Miraiプロジェクト
- ・ PENTAS YAMANASHI
- ・ 自発的教養科目
- ・ 大学アライアンスやまなし

**大学生が
求めていること**

**分かりやすい
情報提供**

**他大学との
関わり**

**活動しやすい
相談環境**

【 学生広報スタッフの活用 】

情報発信



高校生の興味・関心は何か？

SNSを活用した情報発信、発信内容の多様化

活動頻度



スタッフごとの偏り

発信内容や担当ごとのスタッフ間で情報共有

交流機会



顔を合わせた接点

高校生×大学生、大学生×新入生など、より近い目線の意見

[

交流機会の創出

]

高校生

×

大学生

-
- ・ 大学生をより想像しやすく
 - ・ 大学の敷居の高さ低くする
 - ・ 関わりやすい環境

地域住民

×

大学生

-
- ・ 地域へ関心を持つきっかけ
 - ・ 若者の存在による活気
 - ・ 新しい情報や斬新な発想

企業・団体

×

大学生

-
- ・ 若者視点の発想
 - ・ 関わりづらい大人と学生
 - ・ 社会経験

【 ま と め 】

地域の特性である距離の近さを活かして 人と人との関りを密に行っていく

- ・ 地方地域の良さである人と人との距離の近さ
 - ・ 閉鎖的になりやすい環境でもできる他大学との関り
 - ・ 地方創生や地域活動に興味がある人の活動促進
- 高校生・大学生など若年層と地域の距離を近くしていく

【 参考資料 】

- ・ Miraiプロジェクト

[Miraiプロジェクト | やまなし未来計画 | やまなし未来計画](#)

- ・ PENTAS YAMANASHI

[vol04-pentasmagazine.pdf](#)

- ・ 大学アライアンスやまなし

[大学アライアンスやまなし for students](#)

ヒアリングにご協力いただいた方々 計16名

- ・ こぶちさわすずらん祭り実行委員 7名
- ・ こぶちさわすずらん祭り参加高校生 2名
- ・ Miraiプロジェクト参加大学生 3名
- ・ 山梨大学生 2名
- ・ 地域企業・団体の方 2名

ご清聴ありがとうございました。

**ヒアリングにご協力いただいた
16名の方々へ
ありがとうございました。**

**2026年1月23日
山梨大学 生命環境学部 3年
雨宮綾南**